

京都大学 ELCAS2022【演習型】

開催要項

令和4年6月2日

京 都 大 学

1. 目 的 本学の教育理念である「対話を根幹とした自学自習」に基づいて、主体的に学びを極めようとする全国の高校生に、高度な学術に触れる機会を提供することで、研究型大学にふさわしい次世代の育成を目指す。
2. 主 催 京都大学
3. 日程及び授業実施場所
令和4年8月23日（火）、24日（水）、25日（木）、26日（金）
京都大学内（講座によって実施日程及び実施場所が異なります）
※ 詳細は下記の「13. 講座一覧」を参照
4. 講義形態 対面型
5. 定 員 各講座1～5名
6. 対 象 者 全国の高等学校1・2年生（中等教育学校後期課程4・5年生）
7. 参 加 費 無料
(交通費や宿泊費、食費、通信にかかる設備費・通信費等はすべて参加者負担)
8. 申 込 み 京都大学公式ホームページよりウェブによる事前登録制（高校生個人からの申込み）とします。

※ 申込ページはELCAS2022【講義型】と異なりますのでご注意ください。

ウェブ登録後に、京都大学公式ホームページより応募書類をダウンロードし、志望動機を記入後、指定の期日までに郵送してください。

※ ウェブ登録が終了し、かつ応募書類が期日内に本学に到着して申込み完了となります。不備のないよう注意してください。

※ 郵送先：〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学 教育推進・学生支援部 入試企画課 高大連携担当
封筒に「ELCAS 応募書類」と朱書きしてください。

※ 応募書類（志望動機）により選考をおこないます。
※ 高等学校等の団体による取りまとめはご遠慮ください。
※ 応募者本人のメールアドレスをご準備ください。
※ 保護者の同意を得て応募してください。
※ 「ウェブ登録から申込み完了までの流れ」（下記7ページ）を参照してください。

(1) 申込み受付期間 **5月19日(木) 17:00～6月15日(水) 17:00**

応募書類受付期間 **5月19日(木) 17:00～6月15日(水) 17:00 必着**

※ 開始直前はアクセスが込み合い、つながりにくくなることがあります。つながりにくい場合は時間をおいて再度応募期間中にアクセスしてください。

- (2) 入力された個人情報は、本企画の実施にのみ使用いたします。
- (3) ELCAS2022【講義型】との併願はできません。
- (4) 1名につき1講座のみ申込みが可能です。
- (5) 本学で重複応募を確認した場合には、すべての応募を無効とします。
- (6) 申込期間を過ぎますと、お申込みできません。
- (7) 登録者には確認メールが送られます。メールに記載の申込者 ID は応募書類の提出や選考結果発表並びに受講の際に必要なとなりますので、必ず、各自で控えておくようにしてください。
- (8) ELCAS2022【演習型】の受講生にはレポートが課されます。提出方法などの詳細は受講生にのみ、メールにて案内します。

9. 選考結果発表 7月1日(金) 12:00

- (1) 京都大学高大連携・入試広報ポータルサイトにて選考結果の申込者 ID を発表します。 <https://kyoto-leopard.com/>
- (2) 選考及び結果に関する問合せには応じられません。
- (3) 合格者には受講に関する案内、承諾書をメールにて送ります。
- (4) 登録いただいたメールアドレスあてに「elcas@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp」からメールを送ります。迷惑メールフィルタ等を設定されている場合は、迷惑メールフィルタ等を解除してください。また迷惑メールへ振り分けられている場合もありますのでご確認ください。

10. その他 応募に際しては、以下の点についてあらかじめご了承ください。

- (1) 保護者の同意を得てから応募してください。
- (2) 受講案内をはじめ、承諾書などの諸連絡はメールで行われます。応募の際の入力項目電子メールアドレスは必ず応募者本人が確認でき、添付ファイルを受け取れるものをご入力ください。(学校の代表メールアドレスなど、不特定多数の人が使用するメールアドレスは入力しないでください)
- (3) 合格者につきましては、受講する旨を在籍する高等学校又は中等教育学校長宛に報告します。
- (4) ウェブサイト掲載等を目的とした写真撮影を行う場合があります。これらの写真及び画像は ELCAS ウェブサイトをはじめ、入試広報等で活用します。
- (5) 希望者は令和5年3月開催の「京都大学ポスターセッション 2022」に個人参加することができます(希望多数の場合は抽選)。詳細は合格者(受講生)にのみ通知します。

1 1. 担 当 京都大学 教育推進・学生支援部 入試企画課 高大連携担当
elcas@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp (対応時間：平日 9:00-17:00)

※ 恐れ入りますが、問合せについては全て上記メールアドレスまでお願いします。
無用なトラブルを未然に防ぐためにも、電話による連絡はご遠慮ください。

※ 問合せのメール送信時には、必ずメールの件名に【ELCAS 演習型問合せ（氏名を記入）】と記入してください。件名が空白の場合は、迷惑メールとして処理されることがありますのでくれぐれもお気を付けください。
またメール本文には「都道府県」「高校名」「学年」「氏名」を記入してください。

※ 申込者 ID を忘れた場合には、「都道府県」「高校名」「学年」「氏名」をメール本文に記して上記宛先まで送信ください。記載内容が一致した場合のみ、申込者 ID をメールでお伝えします。原則、申込者 ID の再発行はしません。

※ お問合わせ内容によってはお応えできない場合もあります。

※ 感染症拡大防止の観点から対面型のためイベントを取止める場合があります。あらかじめご承知おきください。

1 2. アクセス一覧

各キャンパスへは下記の URL をご覧ください。

京都大学アクセス

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access>

吉田キャンパス（本部・西部構内マップ）

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r-y>

吉田キャンパス（吉田南構内マップ）

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r-ys>

吉田キャンパス（北部構内マップ）

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r-n>

吉田キャンパス（薬学部構内マップ）

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r-m>

桂キャンパス構内マップ

<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r-k>

※ 自家用車等での来学はご遠慮ください。学内には駐車スペースがありません。

※ 百万遍交差点周辺には、飲食店やコンビニエンスストアがあります。

1 3. 講座一覧

01	比較メディア論			
	開講日	8月23日（火）14:00 ～ 15:30 8月24日（水）14:00 ～ 15:30	定員	5名
	実施場所	京都大学 吉田キャンパス 総合人間学部棟		
授業担当教員名		所属	職名	
鶴飼 大介		人間・環境学研究科	助教	
今日さまざまな情報メディアが使われているが、その社会的・歴史的背景を探っていく。まず、21世紀に入って急速に普及した携帯電話・スマートフォン、ソーシャルメディアの現状を確認し、そこでのコミュニケーションや権力のありかたについて検討する。次に、20世紀に登場したマスメディア（ラジオ、テレビ）について説明し、今日のソーシャルメディアとの違いを考える。これらのことに関して参加者全員で議論する予定である。				

02	美術品の見方を学ぶ			
	開講日	8月23日（火）14:00 ～ 15:30	定員	5名
		8月24日（水）14:00 ～ 15:30		
		8月25日（木）14:00 ～ 17:00		
実施場所	京都大学 吉田キャンパス（ただし実地見学のため学外に出ることがあります）			
授業担当教員名		所属		職名
筒井 忠仁		文学研究科		准教授
美術品は難しくてよく分からない、そう思ったことはありませんか。しかし、見方のポイントさえ掴めば、誰でも簡単にうまく見ることができるようになります。どこを、どう見ればよいのか、そして、正しく見ることで何が分かるのか。それらを知ることにより、美術品のより深い見方を学ぶことが、本講座の目指すところです。さらに、その見方は、美術品だけでなく、あらゆる物事に応用できます。受講後は、世界の見え方そのものが大きく変わるかもしれません。				

03	分光観測で迫る太陽の素顔			
	開講日	8月23日（火）14:00 ～ 17:00	定員	5名
	実施場所	花山天文台（吉田キャンパス北部構内 理学研究科 6号館ピロティにて集合解散）		
授業担当教員名		所属	職名	
浅井 歩		理学研究科 附属天文台	准教授	
常見 俊直		理学研究科 附属サイエンス連携探索センター	講師	
太陽では、太陽面爆発（フレア）に代表される多様な活動現象がいたる所で発生しています。 これらの太陽活動は、宇宙環境（「宇宙天気」）に様々な影響を及ぼすことから、その理解・解明は人類文明にとって緊急の課題であり、太陽活動を探るために、私たちは、太陽からやってくる「光」を詳しく調べています。 今回の実習では、京都大学花山天文台の望遠鏡を用いて太陽スペクトル分光を行い、太陽活動現象を理解する上で必要となる観測とデータ解析を体験します。				

04	薬を作り、作用を視る			
	開講日	8月24日（水）14:00 ～ 17:00	定員	5名
		8月25日（木）14:00 ～ 17:00		
		8月26日（金）14:00 ～ 17:00		
実施場所	京都大学 吉田キャンパス			
授業担当教員名		所属	職名	
小川 治夫		薬学研究科	准教授	
中 寛史		薬学研究科	准教授	
インフルエンザや新型コロナウイルスに対する治療薬等、医薬品は私たちの生活と切っても切り離せない必需品となっています。では、こうした医薬品の創造・開発はどのように行われるのでしょうか？そもそも薬はどうして効くのでしょうか？本講座では、薬学の基礎と最新の研究成果に触れながら、1)有機合成反応の観察を通し、薬がどのように合成されているのかを理解する、2)薬の主たる作用点であるタンパク質と薬の相互作用を実際に観察し、どのように薬が人体に作用するのかを分子レベルで理解する、という二つの内容を取り扱います。				

05	地球が直面する課題を考える			
	開講日	8月23日（火）14:00 ～ 17:00	定員	5名
		8月24日（水）14:00 ～ 17:00		
実施場所	京都大学 桂キャンパス			
授業担当教員名	所属		職名	
杉浦 邦征	工学研究科 都市社会工学専攻		教授	
大庭 哲治	工学研究科 社会基盤工学専攻		准教授	
住みやすくて便利な都市、安全に暮らせる国土、資源・エネルギーを基礎とした持続的文明、環境に配慮した地球社会を築いていくためには、地球が直面する課題に対して真剣に考える必要がある。本講座は、このような課題を考えるにあたり、地球工学という学問とは何か、それが目指すべき方向や貢献すべきことがらが何であるかを、土木、資源、環境の3部門より最近の話題も紹介しながら分かりやすく解説する。また、演習を取り入れるとともに、関連する研究室や実験施設を実際に見学するラボツアー等も併せて実施することで、地球工学の役割や重要性の理解を深めることを目的とした実践的講座である。				

06	文献学の方法と歴史			
	開講日	8月23日（火）14:00 ～ 17:00	定員	5名
	実施場所	京都大学 吉田キャンパス 白眉センター（学術研究支援棟）1F・セミナー室1		
授業担当教員名		所属	職名	
赤松 明彦		白眉センター	センター長・特任教授	

様々な文化は、その地域や国の言葉によって伝えられてきました。文献学は、その言葉を対象にする学問です。人間が考えてきたことは、言葉によって表され、文学作品や哲学書、聖典や歴史書として残されてきました。それらを正しく理解するためには、その言葉がたどった歴史的・文化的な変遷を明らかにしなければなりません。文献学は、そのような言葉について様々な方法を用いて研究する学問です。エジプトや古代のギリシア、中国やインド、そして日本の文化や社会について語る文献（碑文や写本など）を研究し理解する方法について、現代の情報学の方法論も取り入れながら学んでみましょう。

07	群集生態学への招待			
	開講日	8月23日（火）14:00 ～ 17:00 8月24日（水）14:00 ～ 17:00	定員	5名
	実施場所	京都大学 吉田キャンパス北部構内（農学研究科 W420）		
授業担当教員名		所属	職名	
門脇 浩明		白眉センター	特定准教授	
群集生態学（community ecology）は、多様な生物から構成される生物群集(ecological community)と環境の関わりを解明する生物学の一分野である。本講義では、生物多様性（biodiversity）の根幹をなす問題である、「いかにして多様な種が競争しせめぎあいながらも安定的に共存しているのか」という多種共存の問題に取り組む。第1回の吉田キャンパス構内での野外実習と第2回のRをもちいたシミュレーション実習を通して、生態学の研究を体験してほしい				

08	顕微鏡で見る太陽系の進化			
	開講日	8月23日（火）14:00 ～ 17:00 8月25日（木）14:00 ～ 17:00（変更になりました）	定員	5名
	実施場所	京都大学 吉田キャンパス北部構内		
授業担当教員名		所属	職名	
松本 徹		理学研究科 / 白眉センター	特定助教	
我々の太陽系は約 46 億年前にガスと塵から形成されました。小惑星は地球や惑星の材料となった鉱物や水・有機物がほぼそのままの姿で残っている小天体です。小惑星を故郷にもつ隕石や、探査機「はやぶさ」「はやぶさ2」が回収した小惑星のサンプルを分析することで、太陽系の進化を解明することが試みられています。本コースでは、光学顕微鏡を使って地球外物質に含まれている鉱物組織を自分の目で観察し、太陽系の成り立ちについて学習します。				

※ 実施場所の詳細については、合格者（受講生）にのみお知らせいたします。

《ウェブ登録から申込み完了までの流れ》

ステップ①

京都大学ホームページよりウェブ登録をします
(氏名・高校名・メールアドレス等、必要事項を入力)

ステップ②

ウェブ登録受付メールが届きます
(申込者 ID が送付されますので必ず保管してください
応募書類、選考結果発表、受講等に必要です)

ステップ③

京都大学ホームページより応募書類をダウンロード
してください

ステップ④

ダウンロードした応募書類に記入して郵送してください
【6月15日17:00(水)必着】

申込完了

【6月15日(水)17:00必着】までに本学に応募書類が
届いて申込み完了(不備のないように注意してください)

応募書類(志望動機)により選抜

選考結果発表

7月1日(金)12:00
選考結果(申込者IDを発表)
京都大学高大連携・入試広報ポータルサイト
<https://kyoto-leopard.com/>